

## 総合舞台



今年度の総合舞台は、3月6日(日)にコラニー文化ホール・大ホールで盛大に開催されました。

「<sup>しゃちほこ</sup>鯰の目」は、江戸時代に柳沢吉保・吉里父子が甲府城主として支配していた20年間を背景に、姫と番匠(大工)との身分を超えた若者の恋を描いた創作舞台です。

今回はオーディションにより、広く出演者を求め、また、県芸術文化協会等の各分野からご指導をいただくなど、表現の枠を超え、融合させることで、総合舞台として新たな物語を創り上げました。

出演者、スタッフ併せて総勢100名を優に超える方々が、準備や練習を重ねたこの作品は、今までにも増して、多くの県民の皆様感動を与えたことと思います。

フィナーレでは来場者、出演者、スタッフともに惜しめない拍手を送りあい、今年度の総合舞台は幕を閉じました。



- スタッフ 脚本：河野通方/演出部：河野通方、花柳彩三郎、成澤千香子/音楽監督：足達勝子/作曲：中島睦明/指揮：七澤秀人/振付：花柳彩三郎、成澤千香子、三井環、中澤緑/舞台監督：平沢元彦/舞台監督補佐：山口善彦/照明：高松公男/音響：若尾さとる/大道具・小道具：大竹誠、小澤信也/着付：花柳彩三郎、花柳鶯香、小林トコ/髪結メイク：小林トコ/指導協力：【茶道】鶴田宗慶、【華道】稲葉一溪/衣裳協力：内船歌舞伎保存会
- 総合舞台専門委員 委員長：足達勝子/副委員長：花柳彩三郎/事務局長：郷晃輔/委員：一瀬純司、河野通方、高原園佐、中込美知子、中澤緑、中田一勢、七澤秀人、永田京子、成澤千香子、渡辺公男、渡辺政幸/事務局：山梨県生涯学習文化課
- 朗 説 指導：永田京子/声(鯰)：千頭和直輝(朗読楽団 おとぎ日和)/ナレーター(陰)：橋田侑奈(山梨県立大学国際政策学部3年)
- 音 楽 指導：七澤秀人/[オーケストラ] Vn1：長野まゆみ、大澤秀樹、大澤厚子/Vn2：和田政一、長澤純子、大竹あかね/Vla：大竹和恵、飯島隆太/Vc：内藤睦雄、森田智子/Cb：坂本斉/FI：本多世里香/Ob：切石史子/Cl：佐野雅子/Fg：松下浩一/Hr：堀内夏希/Perc：保坂幸雄、二又川啓子、宮野敬子(山梨交響楽団、南アルプス桃源交響楽団、甲府市民吹奏楽団)
- 演 劇 指導：河野通方、久保勝、萩原志穂里/ナレーター：加藤由美/さと姫：佐野七海/千代姫：佐藤葉/八郎太：吉岡風人/正室 繁子：吉岡初枝/知絵(乳母)：原田直美/登代：中込はるみ/堀田善次郎：芝野拓也/乙黒仁五郎：村松玲一/青島権太夫：雨宮豊/鍵屋十兵衛：丸茂富喜子/宗与四郎：坂本英子/徳子：服部いぶき/お仙(水茶屋の娘)：吉岡初枝/さと姫(幼児期)：深田もも/千代姫(幼児期)：深田ゆめ(劇団やまなみ、一般公募、フリー)
- 邦 楽 指導：中田一勢/箏 替手：中村麗声、鈴木博延昭、中村舞和綾/箏 本手：逸見花絵勢、小林珠澄勢、小宮山萬穂勢、上田真和綾、依田光裕声、小澤謙和声、笠井名智郁、新家花保勢
- 台 唱 指導：渡辺公男/ソプラノ：小田まゆみ、河門前斉子、勝俣きみ子、勝俣玲美、手塚喜久子、額谷梨江、安田祥子、渡辺なおみ/アルト：池谷七重、勝俣麻美、勝俣洋子、川口亜津子、菊池玉枝、曾根佳織、倍田敏江、宮下なおみ/テナー：川島健司、藤井誠/ベース：勝俣久雄、西田維宏、広瀬勝志、渡辺公男
- 洋 舞 振付・指導：成澤千香子、三井環、花柳彩三郎/むくげの花の精：飯窪真由、堀米袖紀、一瀬琴珠、小林友莉、中島希光(三井京子バレエ研究所)/姫達の少女期：保坂華緒、若林璃乃(三井京子バレエ研究所)/姫達の想い：荒川伶奈、佐野亜柚実(若尾バレエ学園)/ちょうちょう：小林ゆら、小宮山穂、土屋花恵、菱屋沙希、内田蘭、清水陽葵、渡辺絵理佳、三枝詩葉(若尾バレエ学園)
- 吟剣詩舞 指導：八巻吼昭/山本嘉悠(山梨県吟剣詩舞道総連盟)
- 民謡民舞 振付・指導：中澤緑/農民：中澤緑、大柴ゆかり、堀内みどり、藤巻幸枝、和光カツミ、中込真弓、伊東竹代、矢崎米子、有泉文子、窪田ゆかり、鷹野英子、秋山洋子、和田美都里、山本玲央奈(山梨県民踊舞踊連盟)
- 太 鼓 指導：飛田邦秀/農民：飛田邦秀、内藤晴久、濱久保佑菜、山口淋平、沖田真澄(天野宣音楽事務所)
- 日 舞 振付・指導：花柳彩三郎/般若面之女：花柳彩紗奈(花柳彩三郎社中)
- 茶 道 指導：鶴田宗慶/点前：天野宗正(裏千家)/半頭：依田宗和(裏千家)
- 臨済宗青年僧の会 僧侶：武田一宏(円光院副住職)、伊藤真仁(東光寺副住職)、平尾啓敬(円満寺副住職)、鷲津義昭(浄居寺副住職)、楠拓磨(円光寺副住職)

# 総合展示



今年度の総合展示は、引き続き県立図書館のイベントスペースで開催しました。美術・書道・写真・華道・フラワーデザイン・ハンドクラフト、各分野の最前線で活躍する県内アーティストの作品が一堂に会しました。個々の作品の素晴らしさはもちろんのこと、一度に様々なジャンルの作品を鑑賞できると、来場者からも大変ご好評をいただきました。

| 部門       | 分類                         | 合計点数   |
|----------|----------------------------|--------|
| 美術       | 油彩17点、水彩3点、版画1点、           | 28点    |
|          | 日本画1点、水墨墨彩1点、彫刻2点、         |        |
|          | 工芸3点                       |        |
| 書道       | 漢字13点、小字数2点、調和体2点、<br>かな2点 | 19点    |
| 写真       |                            | 22点    |
| 華道       |                            | 5流派    |
| フラワーデザイン |                            | 12点    |
| ハンドクラフト  |                            | 16点    |
| 出品合計     |                            | 102点   |
| 来場者数     |                            | 1,706名 |



## 合唱フェスティバル 2015

8月29日(土) 13:00開場、13:15開演

8月30日(日) 9:15開場、9:50開演

東京エレクトロン荏崎文化ホール

### 開催状況

様々な合唱団が競演する合唱フェスティバルは、2日間とも大変熱意のあるステージでした。子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層の観客が集い、盛大な拍手をおくって会場がわきたちました。参加団体数も昨年度よりも、4団体多くさらに活気のある催しとなりました。

講師に第一線で活躍されている、合唱指揮者の片山みゆき先生と大門康彦先生、声楽家の平林英子先生をお呼びしてご指導をいただきました。各参加団体の演奏に対して講評用紙に指導助言を書いていたどき、それぞれの合唱団の技術向上に大変役立てることができました。発声面や技術面のこと、曲想表現のこと、そして何よりも合唱は聴いている人にメッセージを伝えるべきものであるという真髄を教えてくださいました。

閉会式では、わかりやすく講評をお話していただきました。「歌うことの喜びをこれからも感じながら生涯にわたって合唱を愛してください。」とお言葉が参加者の心に響きました。さらに山梨県の合唱のレベルがアップしているとの励ましのお言葉もいただき、各団体ともに意欲づけになりました。

山梨県の合唱のレベルがだんだんと上がっていているのは、この合唱フェスティバルを通して、他団体と共に切磋琢磨する場があるからだと思えます。

県民文化祭は、世代を超えた人々の合唱の楽しい交流と合唱技術の向上の両輪を回していく場だと思います。今後も、大きな合唱の輪を広げることが継続して行ければよいと思います。なお本大会に出場した市川高校音楽部は関東大会において金賞を受賞しました。さらに都留文科大学合唱団、全国大会に勝ち進み文部科学大臣賞を受賞しました。

このような名誉ある賞が山梨県から輩出できたことも、このフェスティバルの成果といえます。山梨県の合唱活動にご協力いただいた皆さまに感謝いたします。

#### ・コンクール部門

|            |              |        |         |
|------------|--------------|--------|---------|
| 中学の部       | 混声 (3 団体)    | .....  | 102名    |
|            | 同声 (6 団体)    | .....  | 110名    |
| 高校の部       | A 部門 (16 団体) | .....  | 223名    |
|            | B 部門 (1 団体)  | .....  | 40名     |
| 大学・ユースの部   | (2 団体)       | .....  | 62名     |
| 室内合唱の部     | (3 団体)       | .....  | 52名     |
| ・フェスティバル部門 | (23 団体)      | .....  | 492名    |
| 出演者総計      | .....        | 1,081名 | (54 団体) |
| 入場者数       | .....        | 1,250名 |         |



## 音楽祭

9月13日(日) 12:30開場、13:00開演  
コラニー文化ホール・小ホール

(プレオーディション (ピアノのみ)  
8月1日(土) 南アルプス市カナリアホール  
オーディション  
8月16日(日) コラニー文化ホール・小ホール)

## ジュニアコンサート

平成28年1月24日(日) 13:30開場、14:00開演  
南アルプス市カナリアホール

### 開催状況

第15回やまなし県民文化祭音楽祭を例年通り、コラニー文化ホール小ホールにおいて開催しました。年々来場者も増し、県民の意識の高まりを感じる音楽祭でした。

今年は幼児の参加規程を設けましたので、小さい子供達も多く参加し、盛り上がりました。今年度の文化祭賞はピアノ市川沙絵さん(大学4年)、準文化祭賞にはソプラノ亀澤望微さん、優秀賞としてピアノ稲葉沙里さん、フルート渡辺玲子さんの2名。他に定められた賞からはもれてしまったが、良い演奏をしたと認められ、テノールの坂本響さんに審査員賞を差上げました。尚、音楽祭の賛助演奏として、マリンバ宮崎仁さん(甲府在住)、ハーブの長谷川朋子さん(甲府在住)のお二人に演奏していただき、珍しい楽器による演奏で音楽祭に華をそえて頂きました。今年度も充実した音楽祭を開催する事ができ、来年に向け一層活動を広げたいと思います。

また、音楽部門5回目の参加促進事業としてジュニアコンサートを1月24日(日)南アルプス市カナリアホールにおいて開催しました。

過去に「やまなし県民文化祭音楽祭」に出演した経験を持ち、さらに専門委員の推薦によって選ばれた小学生・中学生・高校生による若い皆が出演しました。

ピアノ・チェロ・ヴァイオリンと各楽器の演奏者7名の独奏で行われ、現在の山梨における、若い勉強過程におけるレベルが解る立派な良い演奏会でした。



#### [音楽祭]

応募者総数……………75組76名

・プレオーディション

参加者数(ピアノのみ)……………60名

・オーディション

参加者数…38組39名(プレ合格者24名を含む)

・音楽祭

第1部出演者数……………14名

第2部出演者数……………2名

・入場者数……………300名

#### [ジュニアコンサート]

・出演者数……………7名

・入場者数……………150名

## 写 真 展

10月28日(水)～11月3日(火・祝) 9:00～17:00  
(28日は13:00～ 3日は15:30まで)  
山梨県立美術館・県民ギャラリーA・B

## 榎並悦子氏フォトセミナー

11月29日(日) 14:00～16:30  
山梨県立文学館・研修室

### 開催状況

第15回やまなし県民文化祭写真部門は、5月9日の専門委員会において公募要項が審議され、以後写真展まで4回における委員会を開催し、諸準備に万全を期した。

作品の公募締切を8月31日(月)とし、審査員は昨年に続き山梨日日新聞社編集局プロカメラマン齋田圭吾先生に依頼した。

本年度の写真展の特長として、総応募数763点と前年より134点増加した。これは、昨年と同じ審査員であったため、選ばれる作品の傾向がつかみやすく、応募に前向きになった方が多かったのではないかとということと、高写連の先生が熱心に生徒に応募をよびかけてくださったことによるのではないと思われる。注目される中でカラー単写真部門が充実しており、入賞作品の選考に苦勞した。また、カラー単写真の充実は、カメラが大変に進歩しており、表現に広がりが出てきたことや、応募規定を自家プリントに多いA4サイズを含むよう改善したことによるのではないと思われる。

榎並悦子先生のフォトセミナーは、第一部は参加学生の作品の講評を含めての初心者向けの話、第二部は写真愛好家を対象にした講師の作品を中心としてのトークショーだったが、会場に入れないう程の参加者があり、大盛況であった。

#### ○写真展

##### 応募点数

モノクロ単写真の部……………59点  
カラー単写真の部…………… 300点  
組写真の部……………82点  
学生の部…………… 322点

合計 763点

出品者数…………… 193名

入場者数…………… 1,350名

#### ○榎並悦子氏フォトセミナー

参加者数…………… 140名



## 邦楽部門公演会

10月18日(日) 9:30開場、10:00開演  
 コラニー文化ホール・小ホール

### マイ尺八を作って演奏しよう (尺八の製作と演奏)

- ① 8月1日(土) 14:00~16:00  
 山梨県立男女共同参画推進センター (びゅあ総合)
- ② 8月2日(日) 10:00~12:00  
 山梨県立男女共同参画推進センター (びゅあ総合)
- ③ 8月15日(土) 13:00~16:00  
 山梨県立男女共同参画推進センター (びゅあ総合)
- ④ 9月6日(日) 13:30~16:00  
 生涯学習推進センター
- ⑤ 10月4日(日) 13:30~16:00  
 生涯学習推進センター
- ⑥ 10月18日(日) 12:45~12:50  
 コラニー文化ホール・小ホール

### 開催状況

少子高齢化社会の中で、失われつつある日本の音楽～邦楽を、くらしの中に再び根づかせるよう、邦楽公演を催した。古典曲8、新曲8、現代曲6、尺八曲5、長唄1、子供達のマイ尺八演奏1曲の全27曲の発表であった。次代を担う高校生のクラブの出演、唄を重視する古典曲、器楽性の高い現代曲、宗教性のある尺八曲と多様性を尊重しながら、民族の音と心を求めた公演であった。

小学生対象のワークショップでは、尺八を自分で造って、その尺八で演奏する。楽器の製作・音出し、曲の演奏に挑んだ。子供のすなおさと感性の良さで、音を出すのがむずかしいと言われる尺八も、合計5回の特訓で上達し、28名全員で発表できた。この喜びをつないでほしい。

自らの身近にあった音楽に関心を払わずにそれから離れ、失ってからその大切さ、いとおしさに気づく！偉大なる日本の伝統文化も認識されるときがきた。



- 邦楽部門公演会
  - 出演団体……………27団体
  - 出演者数……………269名
  - 入場者数……………600名
- マイ尺八を作って演奏しよう
  - 指導者数……………10名
  - 参加者数……………28名

# 大茶会

10月11日(日) 10:00~15:30  
山梨県立男女共同参画推進センター (びゅあ総合)

# 茶道体験教室

12月6日(日) 10:00~15:00  
素心菴 (芸術の森公園茶室)

## 開催状況

### ・大茶会

第15回やまなし県民文化祭大茶会が平成27年10月11日(日) (10時~3時30分まで) 山梨県立男女共同参画推進センターに於いて開催されました。

参加団体は、裏千家、表千家、江戸千家、有楽流、大日本茶道学会、煎茶道の六流派がそれぞれおもてなしの心をもってお茶席を用意してお客様をお迎え致しました。

朝方の雨が嘘の様に晴れて絶好の茶会日和となり、2,200名を越す大勢のお客様であの広い会館にあふれる程の盛会ぶりでした。

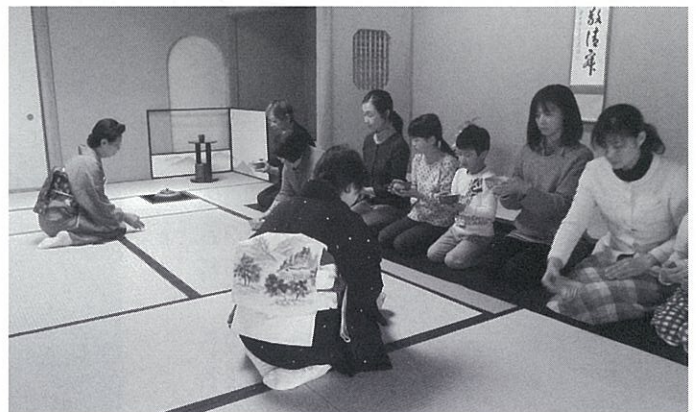
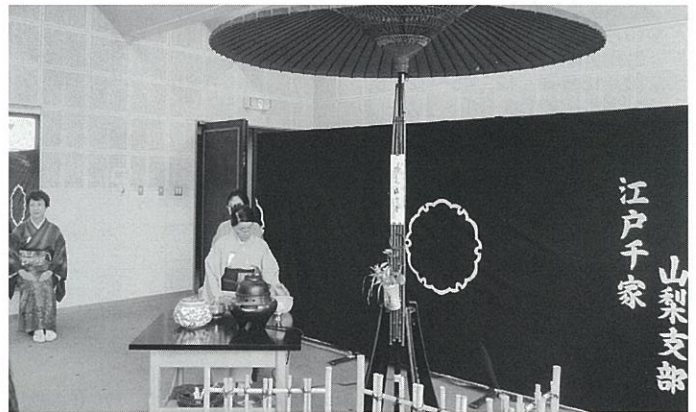
茶会の魅力は、参加者の心が一つになる事なのです。窓外の紅葉も一段と色を添えて、参加者お一人お一人が満面の笑顔で茶の文化にひたっております。

### ・茶道体験教室

8回目の茶道体験教室を平成27年12月6日(日) (10時~3時まで) 素心菴に於いて開催いたしました。

今年の担当は江戸千家の8名の指導者のメンバーです。体験者は100名で、1時間20名ずつ5回にわたり指導が行われました。内容は、茶席の入り方、床の間の拝見の仕方、立ち方、座り方、客のなり方、お茶の点て方、運び方、お茶の頂き方等を楽しく学び、それぞれ満足気な様子で充実感を味わって頂きました。

これを契機にお茶を習いたいという方もいらっしゃいました。



### ○大茶会

#### 参加流派

裏千家、表千家、江戸千家、有楽流、大日本茶道学会、小笠原流煎茶道

指導者数..... 11名

スタッフ数..... 180名

来場者数..... 2,200名

### ○茶道体験教室

指導者..... 8名

参加者..... 100名

## 美術展

10月21日(水)～27日(火) 9:00～17:00  
(27日は16:00まで)

山梨県立美術館・県民ギャラリーA・B・C

染色体験教室 手書き染めに挑戦!～染料で絵を描いてオリジナルバッグをつくろう～

12月20日(日) 10:00～13:00

山梨県立美術館・ワークショップ室

## 開催状況

第15回やまなし県民文化祭美術展は、10月19日(木)に128点が搬入され(美術館搬入口)、20日(火)9時30分から12時まで公開審査が行われた。審査員45名中38名が出席し、まず入選作品110点と、その中で賞候補20点が選出された。その後審査員の本人記名投票により賞候補の中から上位11点(賞の数)を選出し、3回目の投票により各賞が決定された。県民文化祭賞の橋本祐香里氏の作品は、繊維強化プラスチック(FRP)による裸婦像であり、重量感がありながら柔らかさのある造形で、人体のフォルムに無理がなく、デッサンにも崩れがなくきれいな線であれゆれ動く、精神の不安定を巧みにとらえた優作である。その他優秀賞の10作品は、これまで以上に手堅い描写力と造作性と色と形の美しさが心を引きつけた秀作であった。

尚、今展覧会として特筆することは、高校生5名が出展され、どれも若さと思春期の中で、さまざまな想いを込めた作品であり、展覧会の中と奥の深さが見られ、今後の美術の発展に希望が見られた。

表彰式は、27日(火)15時より展示会場である県民ギャラリーAで行い、中込満夫副専門委員長の経過報告に続き、専門委員長が講評を行った。その後、やまなし県民文化祭賞・橋本祐香里氏他10名に県生涯学習文化課長・内田不二夫氏が賞状を授与した。受賞者を代表して、県民文化祭賞の橋本祐香里氏がお礼の言葉を述べ、表彰式が終了。16時より個人による搬出作業を行い、17時には全作品が搬出され、第15回やまなし県民文化祭美術展が終了した。



### ○美術展

| 部門    | 応募点数 | 入選点数 | 審査員・招待 |
|-------|------|------|--------|
| ・油彩   | 55   | 53   | 36     |
| ・水彩   | 33   | 30   | 5      |
| ・版画   | 6    | 6    | 4      |
| ・日本画  | 9    | 9    | 6      |
| ・水墨墨彩 | 2    | 2    | 1      |
| ・彫刻   | 3    | 3    | 4      |
| ・工芸   | 7    | 7    | 10     |
| ・複合立体 | 0    | 0    | 3      |
| 計     | 115  | 110  | 69     |

陳列総点数 179点

(入選110点、審査員・招待69点)

入場者数 1,608名

### ○染色体験教室 (小学生以上対象)

講師: 古屋真知子、古屋 絵菜

【染色家(工芸)】

参加者数 33名